

東京 PCB 処理事業所 トラブル報告 (正式報告)

(1階トランス破砕局所排気オンラインモニタリングPCB濃度高高発報) H30年10月29日

トラブルの内容	<p>1階の粗解体室でトランスの解体作業中、トランス破砕系オンラインモニタリング値(PCB濃度)が自主管理値0.01mg/m³を超え、0.0119mg/m³を計測したことからインターロックが作動し、前処理系の設備及び当該排気ファンが停止した。ただちに排気口を塞ぎ、排気口のオフライン測定を実施したところ、測定結果は定量下限値(0.0005mg/m³)未満で、外部環境への影響がないことを確認した。</p> <p>原因は、トランスから取り外した外装部品をセーバーソーで切断した際に、肉厚のある部分の切断で通常よりも高い温度となり、部品の内部に付着していたPCBを含む液が蒸散して、瞬間的に高濃度のPCBガスが局所排気ダクトに吸い込まれたと考えられる。</p> <p>(9/13トラブル速報における評価及び内容と変更はありません。)</p>		
発生場所・日時	場所：トランス破砕系局所排気 日時：9月13日 11時12分頃		
人身への影響	3	2	①
環境への影響	3	2	①
事業への影響	3	②	1

人身等の影響などの評価には、その時点で判明している暫定評価を記す。正式評価では、変更となる場合がある。

評価(分類)基準表

評価 レベル	人身への影響		環境への影響	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	人身事故・重大な労働災害(死亡災害、入院加療等)	人身事故・重大な労働災害(死亡災害、3週間以上の入院加療等)	事故等が発生したことにより、法令で定めた基準を超える有害物質が外部に排出され、又は排出のおそれが生じた場合	年度計画に影響が出るもの
2	休業災害又はPCB曝露に関するもの	休業災害(休業4日以上のもの)	排出管理目標値超過又はそのおそれが生じた場合	一時的影響で年度内には計画まで回復するもの
1	影響がないもの又は評価レベル3及び2に該当しないもの	影響がないもの又は評価レベル3及び2に該当しないもの	影響がないもの	影響がないもの

暫定評価：トラブルの発生後、速報として報告するもの

正式評価：正確な詳細が判明した時点で行う評価であり、定例の委員会等で報告するもの

なお正式評価では、人身以外に環境や事業の評価も変更される場合がある。